

平成29年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

●静岡市治水交流資料館の利活用による水防災教育の実施

- ・ 小中学校等団体の受入れ(12団体)  
巴川シアターや展示物等を説明
- ・ 資料館利活用推進事業(4校)  
資料館や治水施設を見学する  
バスツアー(小学校4年生対象)
- ・ 水防災に関する一般講座



●安倍川の歴史的治水施設等を説明する副読本の配布

- ・ 「徳川家康公と安倍川物語」



●洪水ハザードマップの作成・周知

- ・ 安倍川・藁科川のハザードマップを4種類作成、  
葵区・駿河区全世帯(17.8万部)配布
- ・ 富士川のハザードマップを1種類作成、  
蒲原地区全世帯(4千部)配布
- ・ Web版洪水ハザードマップを更新
- ・ 住民ワークショップの開催、  
自主防災会、市政出前講座等で周知



住民ワークショップ

平成30年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

●静岡市治水交流資料館の利活用による水防災教育の実施

- ・ 小中学校等団体の受入れ  
巴川シアターや展示物等を説明
- ・ 資料館利活用推進事業  
資料館や治水施設を見学するバスツアー(小学校4年生対象)

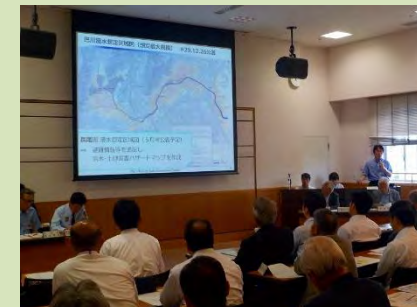


●安倍川の歴史的治水施設等を説明する副読本の配布

- ・ 「徳川家康公と安倍川物語」

●洪水ハザードマップの作成・周知

- ・ 巴川・長尾川のハザードマップを2種類作成、  
流域の約16万世帯を対象とし、  
平成31年2月配布
- ・ Web版洪水ハザードマップを更新
- ・ 自主防災会、市政出前講座等で周知
- ・ 避難確保計画策定対象となる  
要配慮者利用施設の見直し



自治会長・学校長等への説明

平成29年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

●水害避難訓練の実施

- ・ 緊急速報メールによる避難情報伝達訓練(対象約40万人)
- ・ 要配慮者利用施設(こども園)の避難訓練、施設管理者との意見交換(6月)
- ・ 地域住民(羽鳥地区)の避難訓練、住民説明(7月)



緊急速報メールの配信



こども園立退き避難

●地下空間の浸水対策の推進

- ・ 地下街等避難確保・浸水防止計画を、新たな浸水想定区域にあわせ修正。(対象事業者の策定率100%)

○社会経済被害の最小化のための取組

●排水計画の作成

- ・ 国の排水ポンプ車等災害対策車両を迅速に活用するための排水作業準備計画書の作成

●陸間の実働訓練に参加し、閉鎖操作を実施

- ・ 5か所(9/6~9/8)



平成30年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

●洪水対応情報伝達演習の実施

- ・ 静岡河川事務所、甲府河川国道事務所とのホットライン訓練
- ・ タイムラインの検証及び改善に向けた見直し

●要配慮者利用施設における避難計画の策定及び訓練

- ・ 避難確保計画の策定支援  
庁内関係課による検討会の設置  
学識者による職員向け研修会(4/19)  
施設管理者向け説明会の実施(7回実施)  
専用Webサイトの開設
- ・ 要配慮者利用施設の訓練支援  
防災メールによる情報伝達訓練(対象約3.5万人)  
関係機関と連携した実動訓練



学識者を講師に招いた研修会

○社会経済被害の最小化のための取組

●排水計画の作成

- ・ 排水作業準備計画書に基づく排水訓練の実施
- ・ 訓練結果に基づく計画書の改善

●陸間の実働訓練に参加し、閉鎖操作を実施

- ・ 4か所(松富、秋山、籠上、井宮)で実施(8月下旬)

# 平成29年度・平成30年度の主な取組(静岡県中部地域局)

## 平成29年度実施

### ○逃げ遅れゼロのための取組

#### ・市町風水害版図上訓練の実施(平成29年8月10日)

市町職員を対象に、防災情報の取扱いや避難勧告等の発令判断、国・県と連携した対策の実施など防災能力のスキルアップを目的に、実践的なロールプレイング形式による訓練を実施した。



#### プレイヤー(演習者)

静岡市、島田市、焼津市、  
藤枝市、牧之原市、吉田町、  
川根本町

#### コントローラー(統制)

静岡河川事務所、静岡地方気象台、  
陸上自衛隊第34普通科連隊リエゾン)  
県危機対策課、静岡土木事務所、  
島田土木事務所、中部危機管理局

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### ・防災出前講座の充実

企業や自主防災会等を対象に実施している防災出前講座における講話のメニューに洪水や土砂災害を追加した。

平成29年9月12日(火)、株式会社小糸製作所(静岡工場)で、洪水や土砂災害に関する防災出前講座を実施した。



## 平成30年度予定

### ○逃げ遅れゼロのための取組

#### 1 市町風水害版図上訓練の実施

平成29年度の訓練の検証結果を踏まえ、市町職員の防災能力の更なるスキルアップを目指し、風水害版図上訓練を実施する。

#### 2 避難勧告等の発令に関する意見交換会の実施

市町の抱える課題の解決や、国や県による市町への助言・支援体制の強化を図るとともに、“顔の見える関係づくり”を目的に関係機関が一堂に会した意見交換会を開催する。

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### 1 メールマガジンによる情報提供

中部地域の企業等(約600件)に毎月、防災情報のメールマガジン「中部防災ニュース」を発信しており、この中で、水害や土砂災害の啓発等に関する情報の発信を行う。



#### 2 水防災に関する防災教育の推進

地震・津波を中心に進めてきた「防災教育」の取組について、近年、全国で多発している風水害の啓発を進める。

6月1日(金)静岡市北部図書館で開催される市の小・中学校の安全担当者の研修会において、静岡河川事務所、静岡市の関係部局と連携し、防災教育の“教材パッケージ”を使用した模擬授業を実施する。



メールマガジン

【参考】防災教育の実施例

# 平成29年度・平成30年度の主な取組(静岡県静岡土木事務所)

## 平成29年度実施

### ○確実な避難勧告の発令に向けた取組

#### ホットライン訓練の実施(平成29年6月27日)

静岡土木事務所長と静岡市危機管理総室長とのホットライン体制を構築し、ホットライン体制の相互確認のための訓練を実施した。



発信者 静岡土木 濱田所長



受信者  
静岡市 喜澤前危機管理総室長

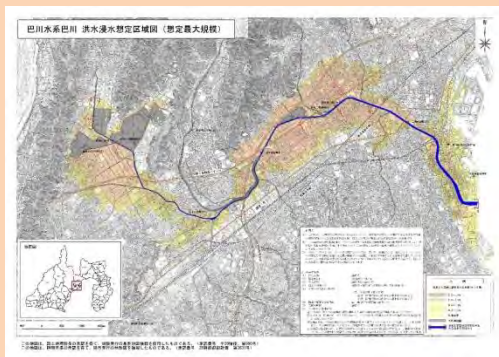
#### 【平成29年度ホットライン実績】

- ①H29.6.21 ②H29.10.23 ③H29.10.29

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

#### 巴川水系巴川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の公表(平成29年12月26日)

平成27年7月水防法改正に基づき巴川水系巴川の想定最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図を作成し公表した。



### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

#### 重要水防箇所等の合同巡視及び点検(平成29年6月29日)

静岡市水防団、静岡市、静岡土木事務所合同で重要水防箇所等の巡視及び点検を行った。



合同巡視の出発式



欠壊箇所の確認

### ○施設能力を上回る洪水への対応

#### 管背後に市街地を有する築堤河川等における天端補強等の減災対策の検討

堤防天端舗装等の危機管理型ハード対策を実施した。



丸子川の実施状況(着手前)



丸子川の実施状況(完成)

# 平成29年度・平成30年度の主な取組(静岡県静岡土木事務所)

平成30年度予定

## ○避難行動を促す取組

出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の実施

地域における出前講座等への講師の派遣と、小中高等学校で実施される水防災教育を推進する。



職員による出前講座



教諭自ら実施する水防災授業

## ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

想定最大規模の洪水浸水想定区域図の指定・公表

河川名	計画規模	想定最大規模	HMの作成(市)
安倍川(直轄)	公表済	公表済	公表済
富士川(直轄)		公表済	公表済
丸子川		作成中	H31以降
巴川		公表済	H30作成
長尾川		公表済	H30作成
庵原川		作成中	H31以降
山切川		作成中	H31以降
興津川		作成中	H31以降

## ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

危機管理型水位計及び監視カメラの設置

○新たな水位計設置候補 **12河川**  
(設置済 12河川)

(県)

- ・由比川
- ・向田川
- ・内牧川
- ・久住谷川
- ・大沢川
- ・継川
- ・油山川
- ・瀬名新川
- ・小坂川

(静岡市)

- ・浜川
- ・大門川
- ・秋山川

○新たな監視カメラ設置箇所 **7河川7箇所**  
(設置済 8河川28箇所)

(設置済 8河川28箇所)

- ・安倍中河内川(玉川)
- ・安倍川(横山)
- ・丸子川(丸子川橋)
- ・興津川(和田島橋)
- ・長尾川(平山)
- ・巴川(江尻)
- ・藁科川(富沢橋)

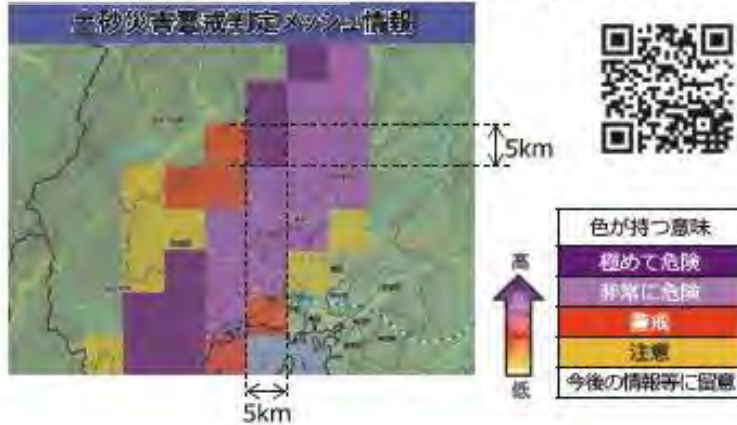




# 危険度分布の提供等の防災気象情報の改善

## 土砂災害

土砂災害危険区域を1kmメッシュごとに詳しく予想しています

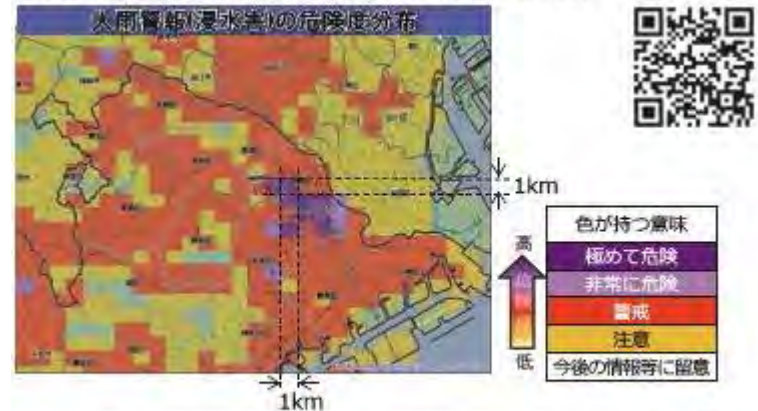


うちは土砂災害警戒区域で、危険度が赤になったわ。今は夕方で雨もひどくないし、今のうちに避難しましょう。



## 大雨(浸水害)

浸水害の危険度を1kmメッシュごとに詳しく予想しています



大雨警報(浸水害)が発表されて、危険度が赤になった。地下室からすぐに出よう。



## 洪水

洪水害の危険度を詳しく予想しています



洪水警報が発表されて、危険度が赤になった。指定緊急避難場所に避難しよう。



これらの「危険度分布」のほか、「警報級の可能性」、「危険度を色分けした時系列」を提供開始。

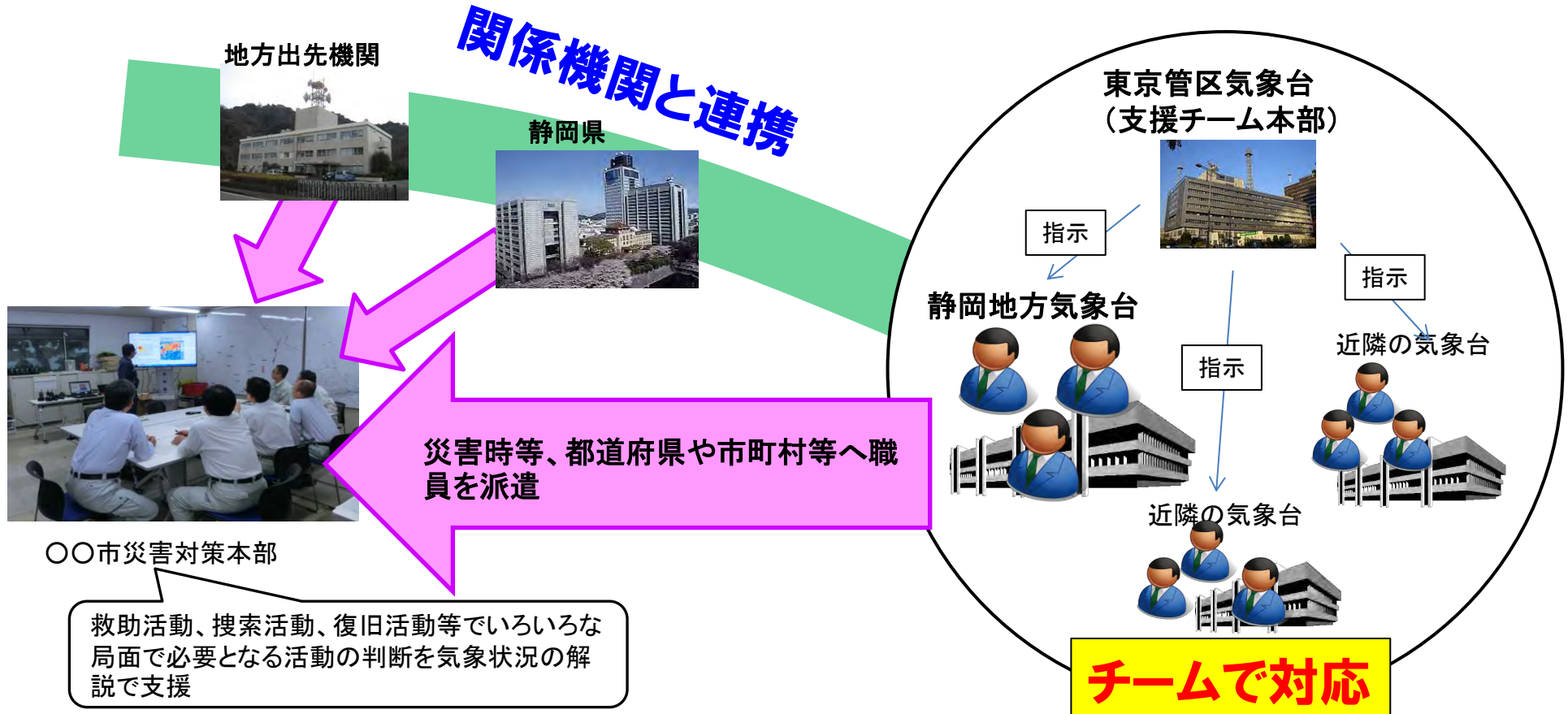
「いつ」、「どこ」が危険なのかをわかりやすく。



# 気象防災対応支援チームの創設

静岡地方気象台

- 市町村等の防災対応の支援を強化すべく、災害が発生した（又は発生が予想される）場合に、都道府県や市町村の災害対策本部等へ気象庁防災対応支援チーム(JETT)として気象庁職員を派遣。国土交通省のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の一員として活動。
- 現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえ、気象等のきめ細かな解説を行うことなどにより、地方公共団体や各関係機関の防災対応を支援。
- 平成30年5月1日に正式発足。



# 平成29年度・平成30年度の主な取組(静岡河川事務所)

## 平成29年度実施

### ○ハード対策のための取組

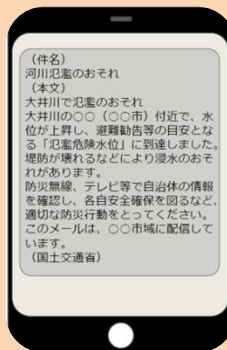


・安倍川門屋地区等に堤防整備のための護岸工事を実施

### ○住民の防災意識向上のための取組



- ・想定最大規模の氾濫シミュレーションの公表
- ・安倍口小学校で出前講座を実施



### ○逃げ遅れゼロのための取組

- ・安倍川の洪水時に緊急速報メールの配信を開始(5/1~)
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成に向けた取組を実施

### ○社会経済被害最小化のための取組

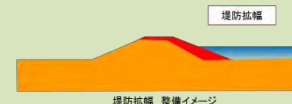
- ・関係機関と調整をしながら「陸間閉鎖を考慮した避難計画の検討」「水防団等との意見交換会」等の取組を実施

## 平成30年度予定

### ○ハード対策のための取組



- ・安倍川牛妻地区において、洪水を安全に流下させるための堤防断面が不足のため、堤防強化対策として堤防の断面拡幅を実施します。(L=300m)



### ○住民の防災意識向上のための取組

- ・静岡市安全教育担当研修において静岡市内小中学校の安全担当教員に**小学校防災教育模擬授業**を実施(6/1)
- ・教員免許更新のための講習に協議会として水防災に関する講座を開設(7/25)

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練



### ○社会経済被害最小化のための取組

- ・排水ポンプ車の操作訓練の実施

